



望ましい家庭の民主化

倉品 千代子

日本は家族制度の国である。私共は家と云ふものを非常に重要なものとして教えられ、子供の時、立身出世し、家の名を輝かせ、名を汚すなと戒められた家をつぐと云ふ事がやかましくいわれ、新しい民法が作られる以前は、ひとり娘は家をなくして嫁にゆく事は法律が許さなかつたが、今は法律の上ではこの事はなくなつたが、なほ現在根強くこの考えが封建時代の遺物として残っている。家は私生活の場所、子供達の成長の場所夫婦の愛情の場所でお互に協同生活をとるべき場所であつて、子が親に仕える場所でもなく夫婦の間における隷属の場所でもない。親と子、夫と妻とは年齢も違い、趣味も考えも違ふ。親のすきな事が常に子供に喜ばれるとは限らないし、妻の趣味を夫がすべてよしとするかどうかは分らない。親の聞きたい放送は子供はたいくつだろ、子供はすきな放送は親に騒々しい。家はこうした趣味も好悪も嗜好

も考へ方も感じ方も大きく相違する何人かの家族がお互に認め合い相手の気持ちを察し、譲り合つてはじめて可能な協同生活の場所である。民主主義は家での協同生活から出発する。今の世の家庭生活を見ると、父は専制独裁で母と子がひたすら父にかしづく家庭とひとり天下で両親はすべてを犠牲にして子供の幸福に奉仕している家庭と両端が多い。よく聞く事であるが「楽しい家庭のない人生はオアシスのない砂漠に似てる。家庭はこよなき人生の慰安所であり明日への活動の原動力である」とその通りである夫にとつて家庭がオアシスであるといふのはよいが、妻にとつて明日の活動とは何の活動なのか、つまりこの文字の上に夫といふ一句がかくされていく様である。家庭の設計が良妻の仕事であつて、妻は奥様職業——料理人兼洗濯屋兼掃除婦兼保母兼会計士兼何々、但し他所様の仕事は致しませんと。世の中の種々の技術はひた

すら仕事の分業により進歩してに余任では少しも分業化されなく、従つて進歩は割にない男性は個性に従つて職業を選び分業になつていから自分の持ち合せの才能に應じて仕事を選ぶ事が出来るが、女性も哲学科の秀才も数学科の秀才の女子学生でも結婚すると無選択に家事と育事を行ふ自分等の個性は發揮されない。非能率的な職業方式である。家庭の事情は個々名々千差万別であるが、しかし何をなすべきかの根本は男も女も青年もみんな独りの独立の間としてそれぞれ個々の事情の中に最もよく自分を生かして社会のために働かうとするならば如何になすべきかの答えは自分自分の頭から出 来る筈である現在まだ根強い封建制の時代に女性の新しい家庭生活には男性と共に女性も頭の切りかえの出来ない中は大きな困難がある私には男の子供が多い。時々家事の手傳を分業式に要求する。あなた方は民主主義の時代に生きるのだから女性の仕事も出来るだけ手傳い、女性に勉強する時間を與い、向上する意欲を持たせればならない。しかし蛙の干は蛙でなかなかみ腰を上げない。家庭での絶えざる家族の協力の下に女性ももつと向上してゆかれたら家庭の民主的な幸福な時代が来るものと信じる。

町會だより

- 七月一日 厚生水道委員会 全町の塵芥処理について、牛車一、手車六台にて徹底的に処理する。
- 二、共同住宅へ水道引込工事の完了を報告。
- 三、新制中学校校庭外の土取穴を数回に区割し、堰止め、塵芥を以て埋め立て、消毒をして土をかけ、数年間維持すること。
- 七月四日 土木委員会 全町道路、水路を視察し、修理又は補強すべき箇所について一々検討を行ふ。
- 二、笛木久一氏宅の側の土地について実測調査をなした。
- 三、役場係員から、道路の修理をかけた箇所について報告。
- 七月五日 教育委員会 町立巻中学校に於て開会 町立巻グラウンドの整備についで
- 野球場に隣接して、競技場(直線百米、一周二百米)の走路を作り、石炭ガラ、砂、土を混合して敷くこと。
- 二、中学校の歯科医療器械の簡易なる物を備へ附けること。
- 三、日遮 風雪除けのため、校舎の西側、南側にポプラ樹、落葉松等を移植すること。
- 七月五日 産業委員会 第八区、九区の代表者と野菜、青果物の朝市開設の事について協議をなし、中瀬原の大生産地を視察調査することに決定。
- 七月十二日 産業委員会 野菜青果物の大生産地視察の結果報告。
- 二、近郷生産地の農協、区長を手荷して訪問し、意見を聞き出荷の勸奨をすること。
- 七月二十五日 産業委員会 一、近郷生産地視察の結果についで話し合ふ。

- 二、八月一日から開市することを確認し、其の諸準備、宣傳の方法について詳細の打合せを行つた。
- 七月二十六日 朝市場開設準備会
- 一、市中の野菜、青果物業者全部の募集を願ひ、朝市場開設に至るまでの経過について説明し、全面的な協力を求めた。
- 七月二十一日 町議会議決 出席 十六名 欠席 九名
- 一、常任各委員会の結果について各委員長から報告があつた。
- 二、中学校屋内運動場の建築についで
- 地方税制確定の上審議する。
- 三、昭和二十四年度分町税の滞納の処置について
- 二十五年度繰越して処理する
- 四、町の倉庫制度について
- 研究のため保留とすること。
- 五、収入役の補助者として出納を設備すること。
- 六、登雲橋の架替について
- 監督工事とし、負担金が二、三割程度であれば架替する事
- 七、稻熱病防除の見舞金に就て農家の勞苦に報い、食糧増産の見地から十万円を贈呈する
- 八、欠員中の常任委員長を町議會議決第三回臨時会(七月廿一日)に選任することとす。
- 七月廿一日 第三回臨時町会出席 十九名 欠席 六名
- 一、巻町公告式條例外條例二件を決定
- 二、出納員任命についての同意外一件決定
- 三、常任委員長の互選について左記当選

- 総務委員長 横田 孫平
- 教育委員長 河治 忠
- 産業委員長 白崎 一二
- 厚生委員長 沢栗 健一郎

郡青少年指導者講習会に参加して

鹿兒島 達雄

打寄せる波の音と吹来る松嶺と... 郡青少年指導者講習会に参加して



生きた保育

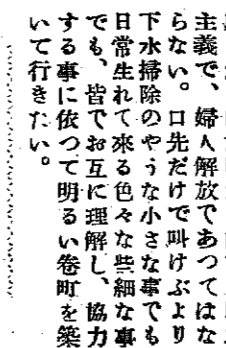
吉崎 雅和

家の近くに保育所があり、時々... 生きた保育

町の一隅より

栗林 孝子

最近の下水掃除の時だつた... 町の一隅より



写真説明 開館中の巻町文庫

伸びゆく心

中原 笑子

同級生に逢うと決つて「どうし... 伸びゆく心

公民館だより

七月十日夜八時三十分より公民館

第四回ものを職く会

同級生に逢うたびに幸福な生活を切りひらいてゆくことを祈る... 公民館だより

農家だより

稀に見る大発生を見た稲穂病に

七月十日夜八時三十分より公民館... 農家だより

婦人會だより

七月二日 巻町南校舎に於て

定例料理講習会を四区の理事当... 婦人會だより

青年團だより

七月二十六日 役場二階に理事

會を開き縣社会課郡公民館、郡... 青年團だより

修農水倉 六郎

封建の破られぬ巻町旧体制の保... 修農水倉 六郎

八月予定行事... 公民館だより

七月二十六、七の三日間加... 農家だより

七月二日 巻町南校舎に於て... 婦人會だより

七月二十六日 役場二階に理事... 青年團だより

封建の破られぬ巻町旧体制の保... 修農水倉 六郎

教育欄

長岡博の感想

巻中 福田 正導

卷中學校の修学旅行を兼ねた博覧会見学の引率として感想を発表申し上げます。新聞、ラジオの報道によれば、実に天下の殿堂世紀の偉觀を思はせる先入観を植

な印象を與えた原因は勿論私にも責任はあるが、館は狭小なもので休憩場の少ない、飲料水の配水の悪い点(皮肉なのは寒いと思ふ)の科学館が入ると汗が

P.T.Aの感想二つ

西川宇重郎

仰せによつて一寸茲に述べさせていただきます。集会の際には或特定の方のみによらず出来るだけ多くの会員

の方々から遠慮のない御意見を聞きたく願ふことによつて、最も民主的な会を運営することとP.T.Aの大切な条件であると思

讀書隨想

森川謙一

「戦争と平和」 谷川徹三著
何故、人間は戦争を繰り返すのであろうか。一九四五八月、第二次世界大戦が終つた其の日から、私達は

に立ち主権の制限にまで行つていない点、二大國間の世界戦争へ危機を解決出来ずにある。又平和の理想も、現在のソ連とユ